

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	プロダクトデザイン実習 3 A	
科目基礎情報							
開設学科	プロダクトデザイン科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	2単位		授業形態	実習			
教科書/教材							
担当教員情報							
担当教員	大山敏弘			実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー		
学習目的							
幅広くプロダクトデザインの知識と技術を学ぶ。 工業デザインに関する基本的なスキルを習得し、マーケットリサーチ・アイディア展開・スケッチスキル・模型製作に関する技術考え方を習得する。							
到達目標							
簡単な構造の工業デザインを行う上での技術知識を習得することを目標にする。							
教育方法等							
授業概要		公儀におけるプロダクトデザインの意味や位置づけ、考え方などを学ぶ。モノ、コトの成り立ちを知るとともに、経済的側面、生産的側面を考慮しながら課題を進める。各種要求項目、および設計条件を割り出し、それに則ったイメージづくりからアイディア展開、モデル化、の流れを経験し、スケッチワークやモデリングワークにおける造形表現手法を学習する。					
注意点		工具・機具を使用した模型製作時怪我をしないよう注意して進める。 スケジュールに則り、プレゼンテーションに遅れの出ないように学生自身がマネジメントして進める。 制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。 やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員が補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。					
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する				
	課題内容	40%	課題のコンセプト・アイディア・デザインを総合的に評価する				
	プレゼンテーション	10%	課題の発表技術、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス			プロダクトデザインの概念・ルールについて理解し、今後のプログラムに当てはめて活用できるようになる			
2回	スピードフォーム・素材変換 1			油土を使った原型を作れるようになる			
3回	スピードフォーム・素材変換 2			石膏を使い二面分割型を制作できるようになる 型分割の考え方を理解できるようになる			
4回	スピードフォーム・素材変換 3			2液混合型ウレタン樹脂注型をできるようになる 樹脂の仕上げができるようになる			
5回	スピードフォーム・素材変換 4			美しくアクリルラッカー系の塗装ができるようになる			
6回	スピードフォーム・素材変換 5			魅せ場を的確に言語化したプレゼンテーションが出来るようになる			
7回	調査・条件検証			テーマに沿った内容の市場調査・機能調査ができるようになる			
8回	アイディア出し コンセプト立案			市場調査・機能調査に基づいたデータからアイディアを出し、コンセプトを構築できるようになる			
9回	アイディアスケッチ			自己が立案したコンセプトに対応したアイディアスケッチを50～100案表現できるようになる			
10回	スケッチ検討会・アイディア再検討			提案されたアイディアを数案まで絞り込み、改善項目を組み込んでデザインの玉成を図れるようになる			
11回	作図・模型製作準備			デザインしたイメージを三面図作成できるようになる 図面に基づいた材料をイメージできるようになる			
12回	模型製作 1			準備した材料を使用し、適した工法を用いながら模型製作が出来るようになる			
13回	模型製作 2			準備した材料を使用し、適した工法を用いながら模型製作が出来るようになる			
14回	プレゼンテーション準備			完成した模型を美しく撮影する事ができる 基礎的なプレゼンテーションボードが作れるようになる			
15回	プレゼンテーション・講評			作品をプレゼンテーション。データに基づいた具体的・効果的なプレゼンテーションが出来るようになる			